

製品名: HES-6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11995**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	HES6
別名	HES6; BHLHB41; Transcription cofactor HES-6; C-HAIRY1; Class B basic helix-loop-helix protein 41; bHLHb41; Hairy and enhancer of split 6
遺伝子 ID	55502.0
SwissProt ID	Q96HZ4
免疫原	抗血清はヒト HES6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

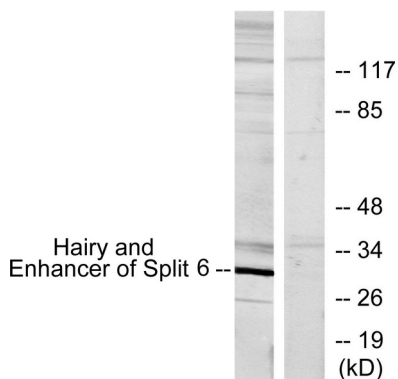
背景

この遺伝子は、ショウジョウバエのスプリット遺伝子エンハンサーと相同性を持つ、塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス転写抑

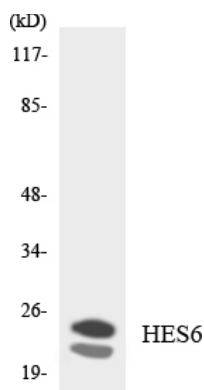
制因子のサブファミリーに属する遺伝子をコードしています。この遺伝子ファミリーに属する遺伝子は、様々な細胞種において細胞分化を制御します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、C末端のテトラペプチドドメインを介して他の転写因子と相互作用し、補因子として機能します。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが記載されている。[RefSeq 提供、2008年12月],ドメイン:標準的なEボックス(CANNTG)ではなく、Nボックス(CACNAG)に結合する特定のタイプの基本ドメイン(ヘリックスを中断するプロリンの存在)を持つ。ドメイン:C末端WRPWモチーフは、ヘアリー関連タンパク質によって特定の標的DNAにリクルートされる転写コリプレッサーである Groucho/TLE ファミリーのメンバーとの相互作用に必要な転写抑制ドメインである。機能:DNA 自体には結合しないが、HES1 を介した N ボックス依存性転写抑制と HES1 の E ボックス配列への結合の両方を抑制する。また、ASCL1/MASH1 と TCF3/E47 によって形成されるヘテロダイマーの HES1 を介した阻害も抑制し、ASCL1 と TCF3 の存在下で転写を上方制御できるようにする。細胞分化を促進する。類似性: 1つの基本ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) ドメインを含む。類似性: 1つのオレンジドメインを含む。サブユニット: 転写抑制には、Groucho/TLE ファミリーのコリプレッサータンパク質との複合体形成が必要である。HES1 と相互作用する。

研究分野

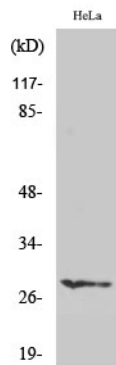
画像データ



HES6 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HES6 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した HES-6 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。